

力走！！第66回県下一周駅伝

2月16日～20日の期間、県内12地区のチームが県下53区間、584kmを駆け抜けました。今大会には曾於チームとして本市から9名の選手が出場し、総合8位の成績を修めました。

郷土入りした19日は、激しい雨が降りしきる中、志布志市内を各地区の選手が走り抜け、伊崎田、志布志の各中継所のほか沿道から多くの声援が送られました。

なお、安川選手が2日目で区間賞、10年ぶりに曾於チームからの出場となった坂中（伸）選手が15回目出場の永年表彰と3日目で区間賞、野村選手が4日目で区間賞と新人賞、増田選手が敢闘賞を受賞しました。

【本市関係の曾於チーム出場選手】

後藤健太選手・坂中伸作選手・坂中省章選手・加治屋毅選手・増田悠大選手・池田峻哉選手（志学館大学）・安川元気選手（鹿児島城西高校3年、有明中出身）・山口瑠偉選手（曾於高校2年、松山中出身）・野村昭夢選手（鹿児島城西高校1年、有明中出身）



潤ヶ野小学校でシイタケ駒打ち体験

2月19日、潤ヶ野小学校の児童らがシイタケの駒打ちを体験しました。市の特用林産物の産地づくり推進事業を活用し、児童の食育学習の一環として行われました。

上級生の児童が、下級生の児童を教えたり、サポートしながら楽しく駒打ちを行いました。この駒打ち体験を通して、食の安心・安全や地産地消の大切さを学びました。



給食配送車のキャッチフレーズ決定

2月21日、来年度から運用する新しい給食配送車の側面に書かれるキャッチフレーズが決まり、最優秀賞に選ばれた2人が表彰されました。（応募総数1,446点 小学校1,118点 中学校328点）

- 香月小学校6年 田中 彩菜さん
「いただきます みんなの笑顔 溢れ出す」
- 伊崎田小学校 3年 原 頼来さん
「よく食べて 未来にとびたて しゅっしっ子」



自衛隊入隊者壮行会が行われました

2月24日、有明地区公民館で入隊者壮行会が行われ、市内の自衛隊入隊者7名とその保護者が参加しました。

壮行会では、市議会議員、海上自衛隊第1航空郡司令部首席幕僚、鹿児島地方協力本部長、そして地元出身隊員が入隊予定者へ激励を送りました。

また当日は、自衛隊志願者に関する情報の提供や募集に対して援助していただく自衛隊募集相談員の委嘱式も行われました。



親子で森林の大切さを学びました

2月10日、有明地区公民館で第11回森はみんなの宝物事業が開催され、親子20組64名が参加しました。

みどりの募金を活用したこの事業は、親子で森林の果たす役割を学び、森林を守り育てる意識の向上を目的として開催されたものです。参加者は、シイタケの駒打ち体験やどんぐりや松ぼっくりなどを使った木工クラフトを行い、楽しみながら森林の大切さを学びました。

ニュースポーツを楽しみました

2月17日、志布志運動公園体育館で第13回志布志市障がい者スポーツ・レクリエーション大会が開催され約80人が参加しました。これはスポーツ・レクリエーションを通して、障がいを持つ方の社会参加を促進することを目的に毎年行われているもので、ドッジビーやネットネット体操などの種目をチーム対抗戦で競い合い、参加者からは大きな声や笑顔が見られ、楽しい時間を過ごしました。



かるたで志布志の歴史に触れました

2月17日、志布志商店街で志布志郷土かるた大会とかるた巡りツアーが開催されました。かるた大会には7組30名が参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。また、鹿児島大学百人一首同好会から5名が参加し、映画さながらの迫力ある競技かるたを披露しました。午後から行われたかるた巡りツアーでは、かるたに出てくる大慈寺や密貿易屋敷跡、権現島を観光ボランティアガイドの説明を受けながら巡りました。

県スポーツ少年団剣道交歓大会“優勝”

12月23日、県総合体育センター体育館で行われた第46回鹿児島県スポーツ少年団競技別剣道交歓大会の団体戦で、志布志武道館剣道スポーツ少年団が優勝、二連覇を成し遂げました。

この団体は、3月27日～29日に山口県の維新百年記念公園スポーツ文化センターで開催される第41回全国スポーツ少年団剣道交流大会に鹿児島県の代表として出場し、更なる活躍を目指します。



倉庫増設の協定を締結しました

2月19日、市と帝国倉庫運輸株式会社（前田昭博代表取締役社長）が立地協定を締結し、その調印式が行われました。

志布志港と道路の整備進展による飼料原料の取扱量増加を見越し、市臨海工業団地2工区に倉庫を整備する計画です。

これにより全体で約10名の新規雇用が見込まれ、地元経済の発展と志布志港の取扱貨物量の増大につながり、地域経済の発展に大きく寄与するものと期待されます。